



広報

うまじ

第212号

平成15年8月1日発行



● ● ● 宿題なんかほっちゃって ● ● ●

(学校プールにて)

夏は子どもたちのもの

子どもたちは水となかよし

地球からふんわりと

足が離れて浮いている

心を解き放して肩組んで

白いしぶきと黒い肌

子どもたちは水に抱かれている

目次	特集	まるごとどっこいしょ-----②③
		ふれあいわかりあう交流学习を--④⑤
		馬路中学校のこころみ
	国際交流	オー!ザック⑫-----⑥⑦
		レイラニにバトンタッチ
		ふるさとへの便り①-----⑧
	健康	Dr.はしだの健康小話 ②口内炎--⑨
	教養	馬路村の歴史と伝説-----⑩⑪
		サントリー地域文化賞受賞 ほか----⑫
		フォトウォッチング ほか-----⑬
		あかちゃん万歳 ほか-----⑭
		村のできごと・村内あちらこちら-----⑮

7/31~8/6

馬路村まるごと どっこいしょ!!

この夏人気の「こじやんと馬路村の夏祭り」をたずねてみた。新宿からJR中央線で西方へ五駅目の吉祥寺駅から、歩いて五分ほどのところにある東急百貨店吉祥寺店が会場である。人通りの絶えない百貨店前では、特製の「ごっくん坊や」の着ぐるみをすっぽり頭から着込んだアルバイト君が、汗だくになってお客さんを招きこんでいる。

八階の会場にあがってすぐには、馬路村役場吉祥寺支所が設けられ、村長自らがお客さんを迎えている。ここでは希望者に特別住民票が発行され、馬路村を訪れたときには特典があるという。支所の向かい側にはJA馬路村のコーナーがあり、ひと目で「ごっくん」だとわかる抜群の知名度を活かしてお客さんを引き寄せている。そこで人の流れ

をつくって一気に奥まで流そうとの思惑があるのだろう。流れにそって進むと、協賛出店の安芸駅ちばさん市場やアイスクリームの松崎冷菓もにぎわっている。夏のこの時期、食味をそる柚子のにおいが漂ってきた。なつかしの顔も見受けられる。「いやあ、久しぶりやねえ、元気やったかね」と妙齢のご婦人と肩をたたきあっているのは白いエプロン姿の山中さんである。そのかたわらでは忙しそうに盛りつけ作業が行われている。ミョウガやシイタケ、タケノコ、コンニャクなどが色鮮やかに盛りられた山菜寿司がおいしいの元である。「きのう買って食べたのがおいしかったのでまた来ました」と代金を払いながら言っている女性もいる。

所要所には馬路村民の等身大の写真パネルがあつて人なつっこそうにこちらに語りかけてくる。駐在の入交さんや消防団の広瀬君も制服姿で立っている。ウオーキング中

こじやんと馬路村の夏祭り

おとなも子どもも大満足



夏休みでもあり、体験コーナーでは親子連れでにぎわっている。



支所では住民課や出納室を設け、特別住民票を村職員が発行している。

の笹岡さんの姿もある。おっと、ここを抜かしてはいけない。会場へ入るなり聞こえていた掛け声の主がそこにいるのだ。この催しのために早朝より就業改善センターに集まって特訓を重ねてきた青年団餅つき部隊である。「ヨイショ ヨイショ」と、持参の手なれたきねとうすで餅をつき、手際よく丸めている。

白川君と中屋君の呼吸もびったりで、きねの音が客をひきよせる。

最後に、会場を出るときにおじさんが語ってくれた。「ふつう、北海道物産展とか県単位の名称でこのようなイベントを開くのに、小さな村が行うのは珍しいですね。馬路村の元気の良さがよくわかりました」

新開発のゆずあん餅につぶあんともぎ餅を加えた三個一セットで販売している。三百円である。お客さんの多い土、日曜日には三斗のお餅をつき見事に完売した。休憩もできる木製のベンチがところどころに置かれ、そこではさっそく「ごっくん」を片手にお餅をほおばっている姿も見受けられる。会場のいちばん奥には「山の天然食堂」と称して五目寿司や山芋汁が販売されている。その隣には体験コーナーが開設され、かずら編みの島田さん、曲げわっぱの四国さんも、おとなや子どもたちの手をとって作品づくりで大忙しである。



ねじった輪をつないだ飾りを一緒に作る内原愛さん（2年生）（写真右）

ふれあい わかりあう 交流学習を

馬路中学校の「こころみ

いじめ、学級崩壊、校内暴力など子どもたちの心の育ちを主な原因とする問題がいろいろと取りざたされています。いずれも今の社会の価値観や道徳観など、おとな社会全体の在り方が子どもたちに大きな影響を与えていることはまちがいないことです。ここでは、障害をもつ生徒や乳幼児とのふれあいを通じて、生きることを理解し、自らが成長しようとする馬路中学校の取り組みを紹介します。

生きる尊厳にふれる 山田養護学校を訪れて 六月二十日（金）

あと三十分で対面式が始まります。障害を持ちながらも一生懸命学んでいる生徒たちとふれあうために、一・二年生が、山田養護学校を訪問しました。ふだん障害児者と接する機会のひとつない生徒は、緊張と不安でいっぱいです。私たちにあいさつをしようにもうまく言葉が出ない子、歩くことがまったくできない子、じっとしていることが苦手で暴れだす子などを見て、驚きと戸惑いの表情がどの生徒の顔にも表れています。その気持ちを解きほぐしたのが手話をまじえての合唱でした。馬路中学校が得意としている歌声が体育館に響くと雰囲気が一変したのです。こわばっていた表情がゆるみました。

対面式を終えて各クラスに移ると、双方の生徒が入り混じった交流学習が始まりました。馬路中学生がリードしながら七夕飾りを一緒に作るうとするのです。一人ひとり障害の内容や程度が違う

ハサミを使って貝のような飾りを協働で作る久保勇太くん（1年生）（写真右）



なかでどのようにしていったらいいのだろう。両校の先生からアドバイスをあり、ついには、折り紙を折る手にA君の手が添いました。生徒の感想を紹介しましょう。

・私たちが笑顔で迎えてくれてうれしかったです。緊張していたけれど、いつの間にか笑いながらふつうに話していました。

・三人ともハサミが使えなかったけど、紙をちぎって、先生に手を持ってもらってトントン叩きつけるようにのりを付けて貼っていました。

「チョッキン」という先生のかげ声で力を入れハサミを使う練習をしている子もいました。

・言葉を話せなくても、表情と動きで、うれしいとか悲しいとか怒っているとかわかるようになりました。

・直接ふれあって初めてわかったことは、障害を持った人たちは何をするにも一生懸命だったということです。

全ての人は、手を携えてより豊かな社会をつくりあげていく仲間です。このことを心に刻む一歩が、この交流学習であったと思います。



打ち生



ボールを使った遊びを工夫する南木隼貴くん
木下のぞみさんと大喜びの陽太ちゃん

少子化、核家族化が進み、家庭や地域で少なくなってきた「小さな命とのふれあい」を体験したいと、三年生は就業改善センターに集まりました。朝から奮闘した手作りの離乳食とおやつ四品を二階大ホールに並べ、いよいよふれあい活動の始まりです。「まだ首がすわっていないから、首の下に腕を当てて、もう一方の腕はお尻に回して落とさないように大事にだっこしてね」と手本を示され、おそろおそろ宮口あかねちゃん（一ヶ月児）を抱きます。山田咲良ちゃん（三ヶ月児）にほ乳瓶でスイカジュースを与えていた子は、「舌で出しゆう時は、ほしゅうないがで」

写真を指さす大野健太ちゃん
を抱く尾谷未沙さん



と教えてもらいます。「口の中が空になってから次の一さじを持つていつてよ」と教わり、ああと自分の口を開けて誘いながら木下陽太ちゃん（七ヶ月児）、小松鼓ちゃん（八ヶ月児）に離乳食を食べさせ、その後、口のふちを拭いてあげます。一歳を過ぎ意思表示もはっきりした幼児たち（白川志保ちゃん、敬佳ちゃん、長田慎太郎ちゃん、大野健太ちゃん、大野光ちゃん）とは、おやつを食べたり、積み木やボールなどで一緒に遊びます。さまざまなお道具を受

命の輝きにふれる
地域の乳幼児と共に
七月十六日（水）

積み木遊びを楽しむ白川志保ちゃん
を見守る八木由乃さん



一さじずつ離乳食を口に運ぶ
河平徳仁くん

けながら乳幼児と接するどの中学生も表情が柔和で、しぐさの優しいこと。愛おしむ気持ちがいっぱいに広がっていることが回りに伝わります。おまけに、おやつはどれも美味しくて、みんな笑顔、笑顔。卒業までには是非とももう一度ふれあい体験学習を持ち

たいそうです。そのときつと、それぞれの乳幼児の成長に驚かされ、成長する「命」の素晴らしさ、「命」を育む親業の重要性、ありがたさをますます強く感じてくれるのではないのでしょうか。関係者一同、協力してくれたお母さん方や小松美和栄養士に心から感謝しています。



パソコンで歓迎の言葉
出す山田養護学校2年

Thank You For Everything!

ザックの次の仕事

高知市役所総務課

国際平和係

国際交流員

馬路にはじめて来たとき、私は不審でいっぱいでした。田舎に住んだことがなく、山の道が怖くて、電話や車を持ってなかったので、「本当にだいじょうぶかな？」と心配しましたが、みなさんがあたたかく歓迎してくれて、2年間があつという間に過ぎ去ってしまいました。

私は、8月に契約が終わり馬路を離れていきます。これが最後の広報になるので、馬路にいた2年間で振り返ってみたいと思います。

一番の思いでは、馬路の子どもたちとのふれあいでした。笑顔いっぱいの教室にはいると子どもたちに元気をもらいやる気がわいてきました。

▶日本とマオリの文化交流み(魚梁頼)



いろいろなゲームを通じて英語に親しむことが出来ました。また、両親が来た時もたくさんの質問を聞いたり歌を歌ったりと楽しく授業をしました。

中学校では、単語より文法が大事になり勉強も高度になりますが、間違いをおそれず勇気を持って、チャレンジすることが大事だと思います。自信を持って外国の人とのコミュニケーションが出来るようがんばってください。

子どもたちからの'書きま'



保育園では幼児と楽しく遊びましたが、子どもたちは私が笑っただけでも喜んでくれ、私のことを受け入れてくれたことが本当にうれしかったです。

いろいろなイベントのなかでも、大人との英会話教室では、英語がわからなく困っていた人もいましたが、身振り手振りや英語のあいさつや自己紹介ができるようにまでなり、私の期待を上回り大盛会でした。



◀両親といっしょに授業を楽しむ

国際交流では、マオリと日本の文化交流をしました。宍芸市の十オミ先生(外国語指導助手)のマオリ族の伝統的な歌とギター演奏にあわせて歌ったり踊ったり、子どもたちとにぎやかに楽しみました。日本文化は、お茶とお琴の演奏と、日本舞踊でした。お茶は、正座に慣れていない私たちにとって大変でしたが、日本の文化にふれることができ貴重な体験をすることができました。

馬路を離れても、高知にいますので声をかけてください。2年間大変お世話になりました。



◀お茶をたしなむ

- ほくは、英語はにがてだったけど英語をおほえてくるとだんだんたのしくなったのもザックさんのおかげです。
- ザック先生はいつも笑顔で教室にきてくれて教室が明るくなりました。分からない英語もしんけんにおしえてくれたのでわかりやすかったです。英語の歌、言葉などがよくわかりました。 Thank you Zach!

オッケー！
まかせて！



レイラニ、
バトンタッチ
したよ！

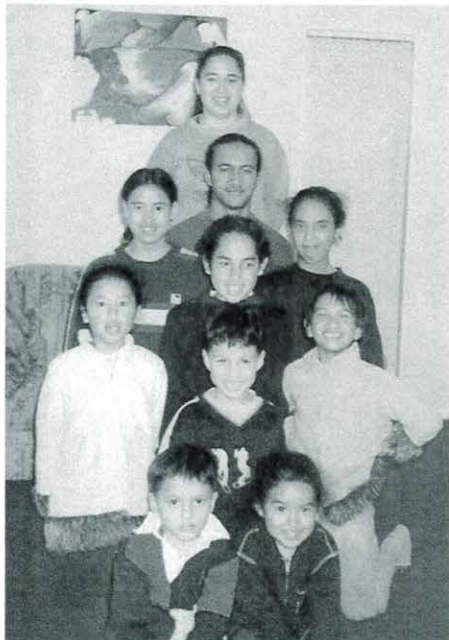


ニュージーランドより こんにちは キアオラ馬路村！

私の名前はレイラニ・ファイティリ、22歳です。8月6日から馬路村のALT(外国語指導助手)になります。私の出身はニュージーランドのギズボーン(人口約3万人)です。家族は弟3人と妹4人の8人きょうだいの長女です。今、ハミルトン町にあるワイカト大学に通っていますが、卒業したら、他の国の文化を体験して、国際交流をしたいと希望していました。高校生のころ少し日本語を勉強し、日本に行ってみたいと思っていましたので、機会ができてうれしいです。私の趣味は美術、スポーツ、音楽、マオリの伝統公演や映画を見ることです。

美術とマオリの伝統の歌や踊りの情熱をみなさんと交わすことができれば素晴らしいと思います。マオリ民族はニュージーランドの原住民で、日本のように昔から伝わっている美しくて豊富な文化がたくさんあるので、日本の文化とマオリの文化を一緒に楽しみたいと思います。そして、馬路にいる間、日本の歴史、文化、習慣、美術や言葉、特に馬路村のことをいっぱい習いたいと思います。

▶きょうだいや、いとこと一緒に
一番上がわたし



スポーツや文化的な行事にも参加したいと思いますので、声をかけてくださいね。
ザックさんによると、馬路の子どもたちはすでにマオリの文化や歌のことを勉強しているとのことなので、会えるのを楽しみにしています。



ふるさとへの便い 1

緑の里で育って

京都府八幡市
武田 綾子 幼
(旧姓 中岡)

私たちが子どものころはどの農家にも農耕用の牛が飼われていました。田植えや稲刈りも機械ではなく全部人力に頼っていましたので、子どもも家の仕事を手伝っていました。農道もななく、収穫したお米も背中に負って運んだのです。食べるものはカマドで煮炊きし、家族がいろいろの周りに集まって夕食を食べ、それは日本昔話のような世界でした。春は田んぼが一面のレンゲの花でピンク色に染まり、夏は家の下を流れる安田川でよく泳ぎました。森林鉄道の軌道が村中を走り、そこを歩いて学校へ通いました。

伊吹山に夫と



金の卵といわれ、中学校を卒業すると都会へ働きに出て行く同級生が多いなかで、私は家事を手伝いながら洋裁や編物などを習い、村に残ることとしました。青年団活動がとて盛んで、村民運動会での仮装行列やふるさと楽団での活動が印象に残っています。親切にドレミから教えていただき、盆踊りにはなんとか皆

さんと一緒に舞台上で発表できるまでになりました。結婚を機に馬路村を離れて、大正町で十年間暮らしましたが、その後都会に出てきました。夫が働き者で、今まで私は安心して笑って生きてこれました。一男一女の子どもも社会人となり仕事に励んでいます。

馬路村はゆずですつかり有名になりましたね。こちらでもテレビの人気番組で取り上げられ、私も見ました。私の若いころと比べて人口は半分ぐらいのようですが皆さんががんばっているからでしょう。馬路村のさらなる発展を祈っております。さようなら。

離れて29年

愛知県豊田市長
小松 啓仁 より



自宅前で妻、長女と

馬路村のみなさん、お久しぶりです。こちらに来て早いもので二十九年が経ちました。馬路中学校を昭和四十九年に卒業し、愛知県のトヨタ工業高等学園に入學しました。三年間の学校生活を終えるときにトヨタ自動車に入社し現在に至っています。今は、自動車製造工場のひとつに勤務しており、ここではプレミオ、カムリ、ウィッシュなど多くの車種を、日夜二交代制勤務で月約二万台生産しています。私の所属する塗装部は車体内外の塗装や防音、防錆、防振などの作業を行っています。そのなかで十七名の部下とともに生産、品質、安全、原価育成などの日常管理・監督の業務にあたっています。

会社での二十六年間にはいろいろなことがありました。新工場の設立や技術的な支援のためにアメリカとイギリスへ五回赴任しました。一度行けば三ヶ月ほど滞在します。言葉

習慣の違いやアパートでの生活には大変さもありましたが貴重な経験ともなりました。私生活では二十一才で結婚し、二男二女に恵まれ、三十才で念願の家を持つことができました。今年は孫も生まれおじいちゃんになっています。家のまわりには緑も多く近くには川もあり、私もアメゴ釣りを楽しんでいます。しかし、この間には幾度となく馬路へ帰ろうかと思いましたが。今は我慢してやってきましたよかったです。馬路では母が一人で住んでいます。母ともどもいつまでも元氣な村でありますように。

イラスト
はだけなか
ともこ



Dr. はしだの健康小話②

■口内炎について

口内炎は口の中の粘膜におこる炎症のことです。たびたび見られる病気で、経験したことのある方もきっと多いのではないかと思います。今回はその口内炎についてお話ししようと思います。

口内炎は、くちびるの裏の粘膜やほおの粘膜、歯肉などに起こります。一番多いのがアフタ性口内炎で、口の中に1個から数個の白く浅い「くぼみ」ができます。この「くぼみ」の事を英語で「アフタ」といいます。アフタ性口内炎はピリピリした痛みが強いのが特徴です。あまりに痛くてまともに食事ができない場合も少なくありません。

アフタ性口内炎の原因は、精神的や身体的なストレスがきっかけとなることが多く、男性より女性に多くみられるため、女性ホルモンとの関連性も考えられています。

また、体調が良くない場合にもたびたび見られます。

その他の口内炎では、小児に多く見られるヘルペスウイルスによる口内炎や抗生物質や抗炎症剤などの薬による薬剤性口内炎、ビタミン欠乏（B群やC）によるものも見られます。またベーチェット病では、たびたび口内炎が再発します。

以上の通り、口内炎にもいろいろな種類があるのですが、日常見られる口内炎のほとんどがアフタ性口内炎で、口腔内に塗る軟膏（診療所にもあります）やパッチ剤（残念ながら診療所にはありません）で比較的早く治りますが、もし口内炎を繰り返す場合には精密検査が必要となります。

■これから夏本番です

外で仕事をする時、スポーツをする時は、前もって水分補給を十分にしておきましょう。

（次号は、腰痛症です。）

診療所医師 橋田 祥

馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長 山中 巖

(通算第105回)

金林寺薬師堂に係わる

伝承 (事実)

慶応三年(一八六六)から、明治二十六年七月(一八九三)まで、金林寺の住職を務めた法道阿闍梨は、岡山県大庭郡・上光寺の住職でしたが、哲瑞法印(中山の北寺から金林寺へ隠居して住職となる)が亡くなられて、跡を継ぎ馬路村へ来られたのです。住職は仏の道に精通し、法を利かせる阿闍梨として村民の信頼を得ていました。現在日浦地区天王の墓域に信者たちが、法道阿闍梨のお堂を建て、今でも参拝する人があつとを絶ちません。法道阿闍梨が形として残したものの一つに「光明真言百万遍供養塔」と刻まれた大きな自然石が、女坂・男坂の中

間、西側に建てられています。(明治十五年建立)

(一) 生きる力

このたび、特に書き記したのは、天王の墓域の入口に在る「山ざくら」です。多くの古老から、あの「山ざくら」は、法道住職が亡くなる前に植えたもので、伐らないでほしいと言う声がありました。この桜は、植えて何年もたないうちに大きくなり、枝を伸ばし、葉を茂らせて人々を驚かせました。この地は墓域につらなっていましたので、「このままにしておく」と、将来、大木になって、葉は落ちるし、根を張って困るようにな

る」という声が出て、ついに某さんが斧で山ざくらを伐りました。ところが元の方から芽を出して伸びるのです。伐っても伐っても枯れずに伸びるので、地区の人々は、「この山ざくらは、法道住職の念力がこもって、生きる力を持っている。伐るのを止めよう」と考えなおしたので。現在、日浦・影地区のどこからでも眺められる「文化景観」になっています。

(二) 信仰の力

この話は、私自身が係わったものです。恐縮ですがご容赦下さい。私が、馬路中学校でお世話になっていた時で、昭和四十七年であったかと思えます。突然、安芸市の某女性(私の先輩)から電話がありました。内容は、「岩手県盛岡市のA女性が、同県のあるお寺の住職さんから、馬路の金林寺へお参りするよう紹介され、馬路へ行く道筋を記した地図も持っている。電車の中で隣り合わせに座って知り合った女性である。馬路の状況は、だいたい知っているが、金林寺の場所を覚えていない。今晩は安芸市で宿めて、明日バスで一緒に行くので案内して

馬路村歌壇

遠目には花かと思ゆるまたたびの

若葉の白が気になる季節

花菖蒲終りし花を一つづつ

摘む公文さん梅雨の晴間に

茶房にて二人つつましく見ていしに

しどけなきさまに我はとまどう

雪の下咲きてこぼるる石垣は

若き頃夫の築きたるもの

栄えたる村の営林署の殉職碑

葉桜の中にひっそりとして

小春日の湖畔歩めば吾が影が

渴れしダム湖の底歩きゆく

貯木場も委託になると言いうち中

大戸山への道崩壊す

さり気なく物事を書きその奥の

真実に迫まれと講師は説く

モンゴルの兜ならむと教授言えり

くろがね光るこの水盤は

水盤：神社仏閣の入口などに置いて手を洗いきよめる水の入った鉄製の鉢

安子

久子

源治郎

佳子

雅子

満

潔子

千恵子

いわお

ほしい」との事でした。

Aさんは、遠路なぜ金林寺へお参りに来たのか、金林寺を紹介した若手県某寺の住職とは？などなど未だに想いをめぐらせて信仰の強さをおしめる日々です。

私が昭和五十七年、村文化財調査委員になってからも、大阪市、東京都等県外から佛像、建造物の見学に来られる団体がしばしばありました。現在、私たちが知らない間に参拝者が、県下的に、全国からもあるやに聞きます。

(三) 新しい力

以下の話は、複数の古老から聞きました。要点のみ言えば、明治時代の初期、馬路村の若者たちが薬師堂の境内で馬に乗り、真剣を持って斬り結んだと言うのです。

現在県内外で行われている「太刀踊り」であつたと思いません。

この話は、私が曾祖母（嘉永二年〜昭和十五年）から聞かされた昔話の一つです。それは、曾祖父が刀を持って行って薬師堂で踊ったこと。その際に刀をなくし残念がっていたこと。曾祖父も若者の中の一人であつたようです。さて、ここで馬について少



法道住職が植えたと伝えられる「山ざくら」
(日浦地区天王)

し記しておきたいと思えます。約二百五十年前、馬路・魚梁瀬兩村では、馬は一頭もいませんでした。牛が馬路村に百七頭、魚梁瀬村に七頭いました。このころ、中山村では、牛は九十八頭、馬は五十二頭、安田では、牛が百五十九頭、馬が七十八頭いました。百五十年前にも馬路村では馬は一頭もいませんでした。地域により、また指導者によつて馬の飼育については違いがあつたようです。馬路村では、明治維新前後から、急速に馬が飼育され

じめたのではないのでしょうか。封建制度を打破し、明治の新しい世の中をつくる一つの証が、薬師堂で行われた「太刀踊り」であつたと考えられます。

注（金林寺薬師堂については、ひとまず稿を終ります）

訂正とお詫び

先号の十一ページ上段、初めより一行、二行は「古代より室町時代に至る住職名等記された古文書はありません」でした。お詫びします。

馬路村俳壇

月末に帰国の予定風薫る

わがままの限りをつくす老の春

喜美栄

風は緑快復おそきひざの痛み

大阪の窓打つ五月雨郷愁湧く

千鶴子

母の背の刈草匂う梅雨晴間

夕暮れの亡父をとまらせ朴の花

佳江

川開き幾度見ても人を見ず

さみだれや我等の句碑の三人遊ぎ

雅子

見はるかす青田風にも色を持つ

梅漬けて亡夫の齡の後を追う

清子

今年竹同じ高さに揺れており

菖蒲園人ゆつくりと立ち止まり

安子

山本一カさんと語りて河鹿宿

四臂に持つ宝珠・法輪・鍵・劍灼け

いわお

四臂：四本のうで・かいな

ぼうしパンづくりに挑戦!

J A 女性部主催で、だれでもできる美味しいパン作りと題して、四日(金)就業改善センターで婦人たち三十四名がパン作りに挑戦した。パン作りに関心のある婦人たちが調理室は満員御礼!



▶ほっかほかパンのできあがり

(就業改善センター)

講師は、この秋オープン予定の村の小さなパン屋さんの今泉春美さんことMIと、桃井由美さんことTARO。美味しい朝日の水と、きれいな空気。パンは生き物です。これで美味しいパンが出来ないはずがない。優しくパンにさわってやってください」と、MI、TAROさんからパンの作り方などの説明を受けた後、ねって、こねて、たたきつけパン作りに奮闘する。発酵中のリラックスタイムにはMIさんの優しい歌声に心いやされて、パンはふっくら、婦人たちはうっとり、美味しいパンの出来栄えに満足していました。

お知らせ

MI、TAROさん経営の村の小さなパン屋さんは、旧営林事務所跡地に、古めかしさを残した昔風の建物で、十月オープン予定です。

喫茶コーナーもそなえ、村の人たちに、くつろいでもらえる場づくりになるよう、ただ今準備中です。

「馬路村 柚子のふるさと村づくり」

楯・副賞200万円

＝サントリー地域文化賞受賞＝



同賞は、地域文化の発展に貢献した個人や団体に、サントリー文化財団(佐治信忠理事長)から贈られるものであり、全国各地の新聞社ならびにNHKからの推薦で、活動実績、その他独自性、継続性及び将来への発展性などをもとに選考されます。本年度は五団体が表彰されました。

七月十五日、東京全日空ホテル(東京都港区)で行われた贈呈式では、上治村長、J A馬路村東谷専務以下、村関係者十名が出席し、村からの招待者として高知県東京事務所長、林野庁前田国有林野部長(元魚梁瀬営林署長)らの顔も見受けられました。総勢三百名が会した式では、正賞としてウイスキーの樽材(ホワイトオーク)で作った楯、副賞として二百万円が贈呈されました。

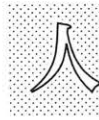
馬路村の受賞理由は、特産品を使ったさまざまな柚子加工品を開発し、独自の戦略と宣伝活動での販売額が三十億円に迫ろうとする実績が高く評価されたものです。また、村がひとつとなって進める「馬路村 柚子のふるさと村づくり」への取り組みも注目されました。

上治村長は、「千二百人の村民と共に先人が守り育てた地域の資源を活用した農業・林業・観光産業の振興に努力している。特に農協の柚子加工品は安全・安心をモットーにここまで伸びてきた。受賞を励みにさらに村民一丸となつて元気な馬路村づくりに努力していきたい」と受賞にあたっての謝辞を述べました。

賞を受ける上治村長(東京全日空ホテルにて)

フオトウオッチング ⑱

岩城 英忠 さん(影)



自宅にて

自然・生物に魅かれて

漫画、いや失礼、イラストが得意な人だということまで自宅を訪ねてみました。ところがどっこい、目の前に出された箱からは、イラスト集ではなく立派な角をかざした昆虫が、のそりのそりと這い出てきたのです。のこぎり状の角は漆黒で羽根は艶のある黒褐色、そう、クワガタムシです。それも普通のより数段大きいサイズのオオクワガタムシと呼ばれるものをオスメス合わせて三〇匹ちかく飼っています。

成虫を手に入れ採卵、幼虫、新成虫となる過程を楽しみながらここまで増やしてきました。今育てている成虫は三年目で、今年も卵を産んでくれていきます。大きいものほど価値が高いので一ミリでも大きいサイズのものと、エサの種類や飼育環境など研究を重ねているのです。というのも成虫の大小は幼虫のときのサイズでほぼ決定されてしまうからです。成虫になつてからはいくらエサをあげても大きくはなりません。今飼っているのは六リ七センチのもので、実は八センチ級を目標としています。



少年時代の思い出をイラストに

飼育しています。こちらはクワガタムシよりも難しく、病気や水温調整などに神経を使いますが、稚魚から成魚に育っていくのは本当にかわいいとのこと。愛息由樹くん(五才)の頭をなでながら、生命の不思議さについて実感し感動する毎日です、と最後に締めくくってくれました。

ただ、実家の本川村のほうがここよりずっと川がきれいだそうです。安田川の汚れにもここを痛めているそうです。

◇お知らせ掲示板◇

ごめん・なはり線がさらに便利に!

ごめん・なはり線「後免町駅」に隣接するバスターミナルと高知空港を結ぶ「空港連絡バス」が便利になりました。バスの運行便数は、午前6時50分の後免町を出発する始発便から午後6時40分に高知空港を出発する最終便まで、1日11往復です。

- 所要時間 後免町～高知空港 15分
- 片道運賃 大人 300円 小人 150円

詳しくは

土佐電ドリームサービス(株) TEL088-832-2210

平成15年度『自衛官募集』のお知らせ

来春、高校、専門学校を卒業のみなさまへ職域多彩、みなさまの応募をお待ちしています。詳しくは

自衛隊安芸募集事務所 TEL0887-35-2749

農業委員会からのお知らせ

《農地を転用するには、許可が必要です》

農地法について

1. 耕作目的での権利移動
- ① 農地法三条の許可

農地や採草放牧地を耕作の目的で所有権を移転したり、その他の使用収益を設定する場合は、知事または、農業委員会の許可が必要です。すべての耕作の期間として「三年三耕作」を運用の基準としています。

- ② 農地転用
- ① 農地法四条の農地転用

自己所有農地を自分で農地転用しようとするとき。

- ② 農地法五条の農地転用に併せ、権利移動(所有権移転、賃借権設定等)が必要なとき。

※ 農用地区域内の農地を転用しようとする場合には、農用地区域から除外したうえで、転用許可が必要です。詳しくは

産業建設課

Tel 四一三三六

赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



さくら
山田 咲良ちゃん (東川)

平成15年3月29日生

(保護者 山田佳行・仁実さん)

はじめまして山田咲良です。よく「お父ちゃんに似いちゅうねえ」と言われるくらいそっくりです。大きな目で興味津津の毎日だけど、実は一番のお気に入りには「くろしおくん」のタオルです。なんだかこのタオルじゃないと落ち着きません。大きくなったなら「くろしおくん」みたいな人気者になれるといいのになあ。寝てることが多いけど、見かけたら遊んでくださいね。



なつき
大野 菜月ちゃん (魚梁瀬)

平成15年3月14日生

(保護者 大野一幸・美穂さん)

こんにちは、大野菜月です。ホワイトデーに生まれたのでみんなからは、女の子でよかったですねとよく言われます。でもね、りりしいまゆげのおかげなのかな？男の子にもよくまちがえられるの。大好きなことは、お散歩、お風呂、だっこです。お散歩はたくさんの人に会えるし、お風呂はきもちいいし、だっこはいっぱい甘えられるから。よく泣いて、笑って、動いて、これからも元気いっぱいになりたいです。

山崎 公好	氏名
男	性別
88	年齢
15・4・2	死亡年月日
山崎公好	世帯主
本人	続柄
魚梁瀬	地区

ご冥福をお祈りします

宮口あかね	子ども
女	性別
淳一	父
容子	母
15・5・29	生年月日
日浦	地区

お誕生おめでとーございませう

平成15年度海上保安大学校・海上保安学校の学生募集のお知らせ

海上保安庁では、平成15年度の海上保安大学校と海上保安学校の学生を募集しています。

詳しくは
高知海上保安部 管理課
TEL 088-832-7113

旧軍(昔の日本軍)毒ガス弾や基地に関する情報はありますか

環境省では、旧軍毒ガスの全国調査を行っています。これらの情報をご存じの方は、健康福祉課へご連絡下さい。個人のプライバシーは確実に守ります。詳しくは TEL 4-2112

がんばれ「ごめん・なはり線」
2大応援イベントコンテストのお知らせ

その(1) ファミリー、フォトコンテスト作品募集
「ごめん・なはり線」各駅のキャラクターモニューメントと一緒に写した家族の写真(家族のうち二人以上写った写真)を募集。

その(2) 文学コンクール
「ごめん・なはり線」と高知県東部地域の自然、風物などの魅力を、俳句部門、川柳部門、詩、エッセイ部門のいずれかで表現。その(1)その(2)とも、応募締め切りは、平成十五年八月三十一日(日)。

詳しくは ごめん・なはり線活性化協議会
Tel 〇八八七-三五-一〇二五

村内あちらこちら



6月15日 親子元気まつり



6月25日 スカッシュバレーボール大会・魚梁瀬事務所所長杯



6月29日 歌って走ってキャラバンバン



7月12日 過去最高24組参加の筏レース



7月17日 消防積載車入魂式

村のできごと

《6月》●

- 4日 春の教養講座第4回目
- 8日 村内一斉清掃
- 15日 親子元気まつり
- 18日 6月定例議会開会（～24日）
- 20日 馬路中学校・山田養護学校とのふれあい交流学习
- 24日 マオリ文化と親しむ夕べ（魚梁瀬多目的施設）
- 25日 スカッシュバレーボール大会・
魚梁瀬事務所所長杯（～26日）
- 26日 馬路村小中学校管理職研修（香川県）（～27日）
- 27日 エコアス馬路村総会
- 29日 歌って走ってキャラバンバン（魚梁瀬）

《7月》●

- 4日 パン作り講習会
- 8日 三宝山草刈り
- 10日 馬路中学校キャンプ（香北町）（～11日）
魚梁瀬中学校キャンプ
（魚梁瀬オートキャンプ場）（～11日）
- 12日 フェスティバル魚梁瀬
- 15日 サントリー地域文化賞贈呈式（東京）
- 16日 馬路中学校乳幼児ふれあい教室
- 17日 PTA救急法講習会（馬路）
消防積載車入魂式
- 19日 山の学校体験入学（～20日）
夏休み親子絵本作り教室（～20日）
- 20日 夏休み親子人形劇教室
中芸消防大会
- 26日 子どもオールナイトキャンプ（魚梁瀬）（～27日）
カップ作戦清流安田川2003水辺の楽校（～27日）
- 30日 子どもの夢事業（～31日）

編集後記

紫陽花の花が雨に打たれてひととき鮮やかさを増したある日、一通の封書を受け取りました。「広報うまじは心の友となりました」とふるさとを離れたの思いを、切々と美しい文字で書いた教育委員会宛ての手紙です。拝読しながら、ありし日と現在と未来を結ぶ広報誌、ふるさとと今の生活を結ぶ広報誌としての役割をもっと大切にしたいとの思いに駆られました。今月号から、馬路村を離れて生活をしている方々に登場願って、近況などをお知らせいただく「ふるさとへの便り」コーナーを設けることとしました。（璃）

8月・9月 むらの行事予定

月 日	8 月	月 日	9 月
1	金 東急百貨店馬路村催事(東京)(7月31日~8月6日) わかなご会神戸実業学院との交流会 (~2日)	1	月 小中学校始業式
2	土 横浜新町小学校バレー部合宿 (~3日)	2	火 1歳6ヵ月児健診(安田町保健センター) 13:00~受付
3	日	3	水 校内水泳大会(馬路小)
4	月 親子水泳教室(馬路小) (~6日)	4	木 馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~12:00 校内水泳大会(魚梁瀬小) 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
5	火	5	金
6	水 魚梁瀬子育て支援教室(魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00 外国語指導助手来村 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00	6	土
7	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00	7	日
8	金	8	月
9	土 親子体験教室(安田川源流探検キャンプ) (~10日)	9	火 敬老会(馬路)
10	日	10	水 敬老会(魚梁瀬)
11	月 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00	11	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
12	火	12	金 献血 { J A 柚子加工場 10:00~11:00 就業改善センター 12:15~14:30
13	水	13	土
14	木	14	日
15	金 納涼祭	⑮	月 敬老の日
16	土	16	火
17	日	17	水 魚梁瀬子育て支援教室(魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00
18	月	18	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
19	火 村内教育研究会(就業改善センター)	19	金 3歳児健診(奈半利町保健センター) 13:00~受付
20	水 乳幼児健診(安田町保健センター) 13:00~受付	20	土
21	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00 わんぱくチャレンジ・イン・北海道 (~26日)	21	日 第23回馬路おしどりマラソン大会
22	金	22	月
23	土	㉓	火 保、小、中運動会(馬路) 秋分の日
24	日 親子体験教室(ステンシルうちわづくり)	24	水 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00
25	月	25	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
26	火 校内水泳大会(馬路中・魚梁瀬中)	26	金 引き取り犬・猫収集日
27	水 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00 中芸地区小学校水泳記録会(奈半利小)	27	土
28	木 馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~12:00 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00	28	日 保、小、中運動会(魚梁瀬)
29	金 引き取り犬・猫収集日	29	月
30	土 親子研修旅行(魚梁瀬小中PTA) (~31日)	30	火
31	日		

7月末の人口
世帯数 515世帯
男 598人
女 625人
計 1,223人
(馬路 923人)
(魚梁瀬 300人)

編集発行：馬路村教育委員会
住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443
TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010
E-mail adress umaji-v@edu.net-Kochi.gr.jp
印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)